

みなみの風



令和
2年
1月



暖冬で動きも活発！ 数多の経験・体験を！！



2020(令和2)年
正月 子年

今年の干支は「ねずみ」です。「子年」は、ねずみの特徴である小回りが利くことから、“変化に富む年である”とも言われているそうです。2020年は何ととっても、東京オリンピックパラリンピックがいよいよ開催されます。これから一気に興奮が盛り上がっていくのですが、実際に迎えてみないことには、まだ想像もつかないことでしょう。またフィナーレを迎えた後は、どう変遷していくのかまでは、全くもってわかりません。

しかし、そこからの時代を、長い時間をかけて動かし、創っていくことは、今年を経験した子どもたちに期待されていることでしょう。今年度の全国学力・学習状況調査の結果からも、「児童が自分を見つめ前向きに生活している」との分析がされ、教育をはじめ世の中にも、今後に向け着実に歩む世代を育成するために導く方向性や具体的支援が見えつつあるようにも思えます。

時代の変化の中で、様々に事象を経験し、未来へ向けて大きくゆっくり才能を伸ばし、実力を発揮していってくれるよう期待しています。果たして、三度目のオリンピック日本開催

はあるのでしょうか？前回1964年には、二回目の2020年のことなど、誰も考えなかったでしょうね。新春、心新たに未来への期待をします！



“ねずみ”に関することわざ等

「窮鼠猫を噛む(きゅうそねこをかむ)」

＝絶体絶命の窮地に追い詰められれば、弱い者でも強い者に逆襲することがあるというたとえ



「鼠が塩をひく(ねずみがしおをひく)」

＝取るに足らない些細なことであっても、放っておくといずれ重大な事態を招くということ



「大山鳴動して鼠一匹(たいざんめいどうしてねずみいっぴぎ)」

＝前触ればかりが大きくて、実際の結果は意外に小さいことのとえ



新元号初の新春 思いを書に込めました

1月9日(木) ほか



1年生「ふじ山」

・お正月に、おそうにをたべました。からだかぼかぼかしました。

2年生「元気にあいさつ」

・きれいな はつ日の出を見ました。新しい一年がはじまります。

3年生「美しい心」

・憧れない人は、おそろくないでしょう。常に目指したいものです。

4年生「流れる星」

・願い事が叶うまで、地道な努力をずっと続けられるとよいです。

5年生「進む勇氣」

・今の自分を超越するためには、これが必要。失敗しても、大抵は、何とかなるものです。

6年生「新たな決意」

・卒業と新たな進路に向け、新春の思いを込めるのに相応しい言葉ですね。



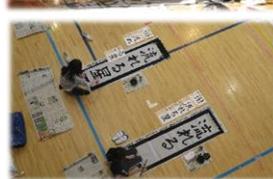
年号が変わって初めてのお正月。心を新たにす絶好のタイミングで、今年も校内書き初め展を行っています。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で条幅紙に、一画、一文字ずつにも、進歩、向上の思いが滲み出るような作品に仕上げました。

例年心配される、3年生以上が会場として使用する体育館の環境も、今年は暖冬のおかげで寒さはそれほど気にならず、BGMの「春の海」によって落ち着いた心境でしたためられました。誰もが真剣に取り組み、集中して運筆したり友達の作品を熱心に鑑賞して評価し合ったりしていた姿が印象的です。

各学級からの優秀作品は職員室前に掲示してありますが、各教室前等に全員の作品が1/24(金)まで展示してありますので、何かの機会に学校へお越しの際は御覧いただければ幸いです。

地区等のどんど焼き用に何枚か持ち帰った作品をくべて、書の腕の上達を願うようにも指導しましたが、日本古来の文化や書の美しさ等は、まだまだ廃れてしまうとは思えません。

思いを込めた作品に味わいが生まれます！





3年生社会科 松田警察署出前授業

1月14日(火)



松田警察署の地域課、交通課、生活安全課の方々の御協力により、3年生社会科の学習で「出前授業」を実施しました。防犯教室や交通安全指導等では、毎年お世話になっていますが、「授業」としては初めての機会です。

“110番通報について” “パトカーや白バイの機能” “駐在所の仕事” など、私たちの生活や暮らしを守る機能等について学習を深めました。

学習させていただいたお礼として、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指す神奈川県警察の業務へ、しっかりと協力をしていきたいと感じました。

日々、有難うございます！



「神奈川県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」

「県内における自転車対歩行者の交通事故の増加や重大事故の発生、全国での自転車交通事故加害者への高額賠償事例などから、自転車の安全で適正な利用の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務化を柱とした条例制定する。」として、令和元年10月1日より全面実施になっています。平地が多く、自転車移動が便利で、機会も多いと考えられる開成町で生活や勤務する者としては、是非とも念頭に置いておきたいですね。



みんなであそぼう！ 手づくりおもちゃランド

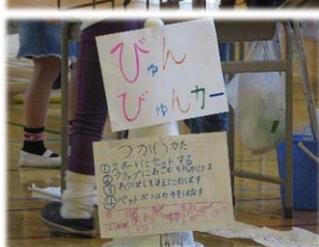
12月20日(金)



冬休み前、1年生も2年生も、この日を楽しみに待っていました。「生活科」の学習で、2年生が手づくりのおもちゃを作り、それを使って”あそびランド”を催し、1年生を招待して楽しく遊んでもらおうという授業です。おもちゃ作りはもちろん、招待状作りをはじめ、遊び方説明や活用の支援、ゲームの進行まで、2年生が丁寧且つ上手に1年生をリードしていきます。自分自身が遊ぶことよりも、1年生に楽しさや遊び方をうまく伝え、喜んでもらおうと必死です。



1年生は、お兄さん、お姉さんに遊び方を教わったり、遊びのコツを聞いて教えてもらったりしながら、工夫されたおもちゃに興味・関心をひかれ、熱中して遊びに参加していきます。「さすがに2年生はすごいなあ・・・」「楽しいなあ」などと感心しながら、「来年は自分たちが1年生を招待する番になる。どんなことで楽しませてあげようか・・・？」など、一年後に思いを巡らせました。



朝から体育館に穏やかな陽が差し、参加したみんながふれあい、温かくなれたひと時でした。



季節のたより

年始の箱根駅伝では、選手たちには走りやすい気候でもあったようで、好記録が続出しました。例年、六区の“山下り”では、路面凍結の影響によるスリップシーンを何回か目にした記憶があるのですが、今年のTV中継を見た限りでは、“暖冬”の好影響もあってか、心配されるシーンは無かったように思います。

2015年のデータですが、神奈川県は降雪日数の順位で堂々の42位(47都道府県)であり、“雪無し県”として確固たる地位(?)を築いているそうです。開成町のある神奈川県西部は、山間部こそありますが、支障をきたすような平野部の積雪は、県中央部や東部に比べて、より少ないとも感じています。箱根・丹沢の山々や相模湾の潮流等のおかげかもしれません。降雪・積雪への憂慮や準備が緩やかな地域性なのでしょう。

平成の初めの頃、「雪はじゃまものか～新・雪国ものがたり～」という図書が、青少年読書感想文コンクールの中学生用課題図書に制定されたことがありました。ノンフィクション作品で、積もれば処理に莫大な労力や費用がかかり、溶けてしまえば水になってしまう雪ですが、雪室(ゆきむろ)などによる長期保存やほどよい熟成、一定した低温多湿保管等の優れた効果も紹介されていた記憶があります。

「暖冬」と言われる今冬の降雪・積雪は、2月、3月でどうなっていくのでしょうか？個人的には、降雪や積雪にワクワク・ドキドキしてしまうのですがね。(担当)

